

いくぜ！友好のロック



大会に向けて、練習を重ねるセンサーのメンバー

セントラル・音楽部は、今年度から韓国・仁川で開催されるティーンズ・ロック・アジア大会に日本代表として出場する。代表は全国200組から選ばれた3組のみで、同部からは昨年の先輩バンドに続き2年連続の出場となる快挙だ。メンバーは「言葉は通じないが、気持ちを込めた歌声や演奏を観客の心に残したい」と意気込んでいる。

セントラル・音楽部は鈴木琢真君(ドラム)、池原愛香さん(ギター)、佐々木綾乃さん(ベース)、ボーカル)、手塚陸斗君(ギタリスト)でつくる4人組。普段は学校での定期ライブや地域の催しで演奏を披露している。

軽音楽部顧問の田沢英貴教諭は「女子2人の力強い歌声を、男子2人がさわやかに支えるのが魅力」と評価する。

大会は日・中・韓の友好親善を目的に、茨城県ひたちなか市は、音源と演奏ビデオの審査を経て選ばれた。日本代表は、音源と演奏ビデオの審査を経て選ばれた。

昨年は茨城県ひたちなか

男女4人組 「音楽に国境ない」

大会では、オリジナル曲「さくら」を演奏する。東日本大震災で被害を受け、福島県から北海道に避難してきた被災者の詩にバラード風の曲を付けた。日中、日韓は領土問題などをめぐり関係が悪化しているが、4人は音楽に国境はない。大震災で日本を支援してくれた中国や韓国の人たちに感謝の思いを伝えたい」と話している。

市で開催され、軽音楽部の当時の3年生バンド「Ruki kiss (ルーキス)」が日本代表としてステージに立った。軽音楽部は55人が所属し、14のバンドが活動する。セントラル・音楽部はレベルの高い同部に憧れて入学し、昨年6月にバンドを結成した。

セントラル・音楽部は、音源と演奏ビデオの審査を経て選ばれた。

昨年は茨城県ひたちなか

平岡高「センサート」25日から韓国のイベントに



渡辺淳一郎記者

平岡高校の軽音楽部は、夏でも窓を閉め切った室内で練習しています。周囲の住宅街に音が漏れないようにとの配慮です。流れる汗を気にせず、練習に励む姿は青春のものでした。

第11号

- 清田区 次は白石区
- 南厚別区
- 北中央区
- 東西平稻穂区
- 手稲区

きよたくしんぶん

地域の健康教室に登場し、区内に囲まれるきよっち

豊かな自然をイメージした胸の木の葉や、区のシンボルマークをモチーフにした帽子が特徴だ。

13年度の着ぐるみ使用は区の積極的な宣伝もあり、前年度の20件程度から急増。13年4月から新たに始めた着ぐるみレンタルは、焼き肉店の開店イベントなど20件以上の利用があった。商店主らからは「集客しやすい」と好評だった。この夏は、週末に予約が重なるケースもあるという。

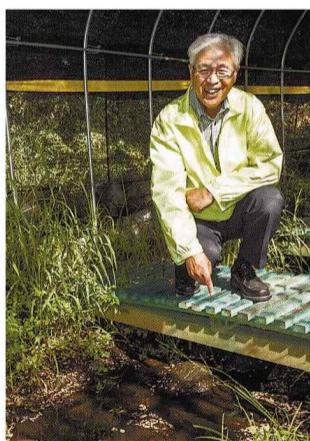


きよっち 大人気

区のマスコット 昨年度 利用6倍増

月に放流し、準備を進めてきた。同会の森田義男理事長は「ホタルの光を間近で見る感動を味わってほしい」と話している(写真)。鑑賞会は24日までの毎日午後7時半～午後9時。無料。問い合わせは清田区地域振興課(☎8889・2024)へ。

ホタル鑑賞会
17～24日に
区役所裏の池



札幌市清田区役所(札幌市清田区平岡1の1)の裏手にある通称・ホタル池で、NPO法人「札幌清田ホタルの会」が開かれます。

17日から、毎年恒例のホタルの会」と市の共催で、2000年から開かれていた清田の夏の風物詩。今年は、同会のメンバーや地元の小学生が育てたヘイケボタルの幼虫約600匹を6

月に放流し、準備を進めてきた。同会の森田義男理事長は「ホタルの光を間近で見る感動を味わってほしい」と話している(写真)。鑑賞会は24日までの毎日午後7時半～午後9時。無料。問い合わせは清田区地域振興課(☎8889・2024)へ。